



株式会社UNICONホールディングス 企業概要説明

2025年5月28日
経済産業省 東北経済産業局
第2回中堅企業等東北円卓会議

【基本情報】

UNITED CONSTRUCTORS of JAPAN (地域連合型ゼネコン)

会社名	株式会社UNICONホールディングス
所在地	宮城県仙台市宮城野区榴岡2丁目5-30 仙台イーストフロントビル 5階
設立	2019年4月
代表者	小山 剛
資本金	172,248千円
従業員数	連結 336名(2024年9月末時点)
事業内容	南東北の4つのゼネコンが経営統合した「地域連合型ゼネコン」 官公庁案件を中心に、主に公共土木工事を手掛ける総合建設会社
子会社	山和建設株式会社(山形県西置賜郡小国町大字町原93-1) 株式会社小野中村(福島県相馬市小泉字高池88-1) 株式会社南会西部建設コーポレーション(福島県会津若松市町北町大字上荒久田字鈴木57-1) 南総建株式会社(福島県南会津郡南会津町山口堀田791)



【事業領域】

公共工事をインフラ整備・災害対応・環境保護の3セグメントに区分して事業を展開
 その他に民間工事や兼業事業を展開

公共工事＝インフラメンテナンス

災害対応

震災・洪水などの突発的な災害における地域復旧／復興及び防災対策



海岸災害
復旧工事



被災施設
復旧工事



橋梁工事



道路工事



道路施設



河川工事



環境保護



ダム工事

インフラ整備

寿命を迎える日本のインフラに対し、予防保全型のインフラ整備を施し、長寿命化することで国土を強靱化

環境保護

持続可能な社会の維持のための、グリーンエネルギーである水力発電所、環境保護につながる維持工事

【グループ各社の特徴】

各社とも個性が異なり、グループシナジーを活かした事業展開を行っている

グループ企業

山和建設株式会社

- 過去から**地域外**(主に新潟、宮城、福島、岩手、北海道)からも積極的に公共工事元請け受注を行っており、**山形県内でも公共工事受注No.1規模の会社**
- 特に強みのある得意な工事について優位性をもって受注している
 - ✓ NEXCO東日本: 道路施設の建設(改修)、道路構造物の補修、新設道路の建設
 - ✓ 国土交通省: 道路工事全般(新設、補修)、砂防ダム関連工事
 - ✓ 農林水産省(農政局): 圃場整備、それに付随する水門工事



株式会社小野中村

- 過去から**相馬市においてスケール・技術力共に常にトップクラス**
- 立地柄、**海岸の堤防関連の工事や川幅の広い大規模な河川工事を得意**としており、主に福島県や相馬市からの受注が多い
- 近年は**山和建設とのシナジー効果が出ており、NEXCO東日本の工事を受注**



株式会社南会西部建設 コーポレーション

- 福島県会津若松市に本社を置きながら、只見町(南会津郡)にも拠点あり
- 特に個性の強いのが、東京電力関連の**超大型水力発電ダムの周辺環境維持管理業務**を請け負っている
- 中でもダム影響によって発生する堆砂土を船(台船)を使って年間約10万m³の浚渫工事を実施しており、**他社が容易に参画出来ない技術と実績を兼ね備えている**
- 主要受注先はJ-POWERハイテック、福島県、只見町であるが、近年は**グループのシナジーを活かしてNEXCO東日本の工事にも挑戦し受注**



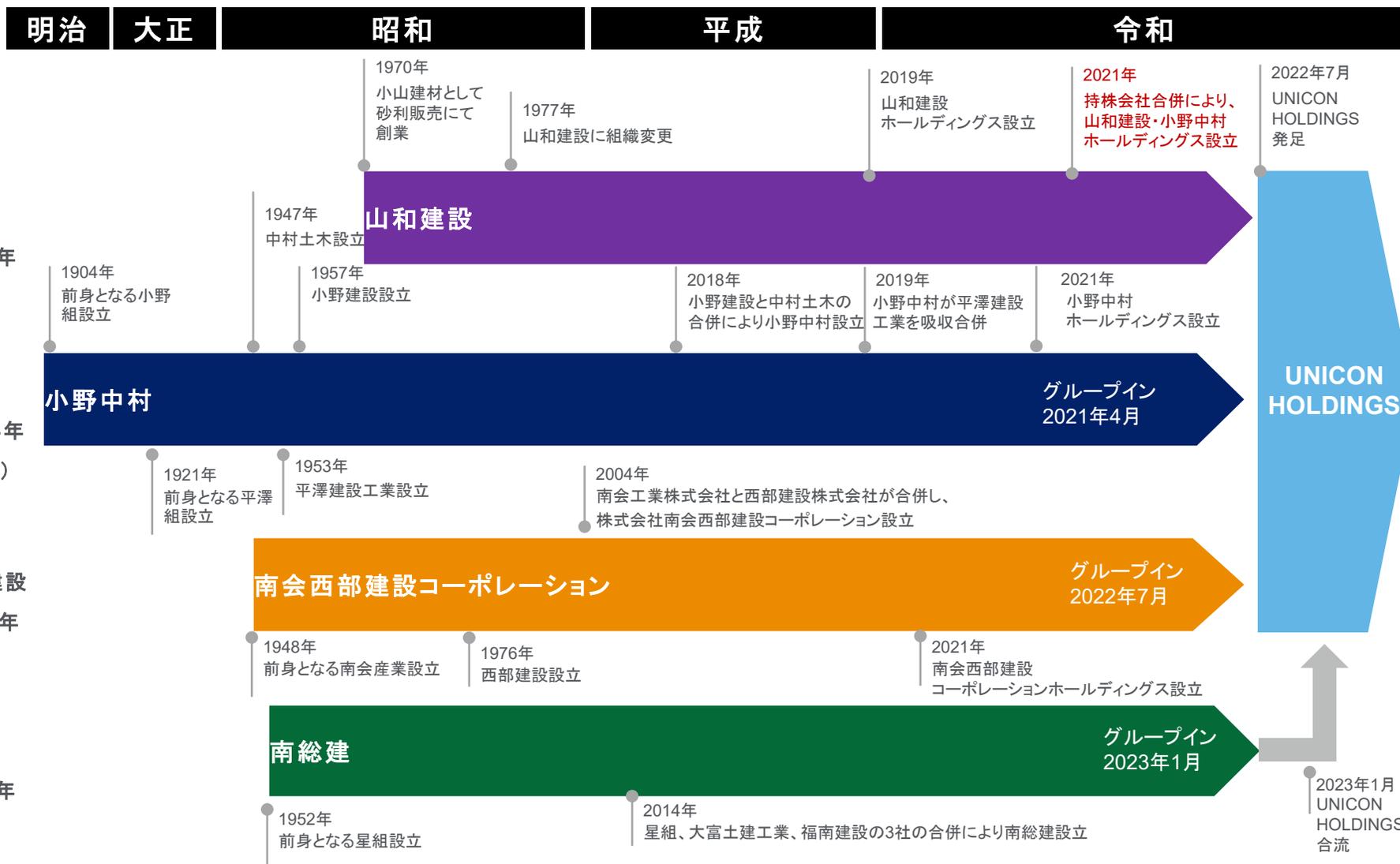
南総建株式会社 (南会西部建設子会社)

- 福島県南会津町に本社があり、**尾瀬国立公園の工事を長年請け負っている会社**
- 主な工事内容は、国立公園内のフットパス(木道)や公園内の管理施設の建設、それに付随する維持メンテナンスを実施
- 国立公園内の工事のため、材料や労務の輸送は**空輸で行っており、ヘリコプターにて実施**
- ヘリ運航ルールや気象も熟知した**熟練の技術をもった希少な存在**



【沿革】

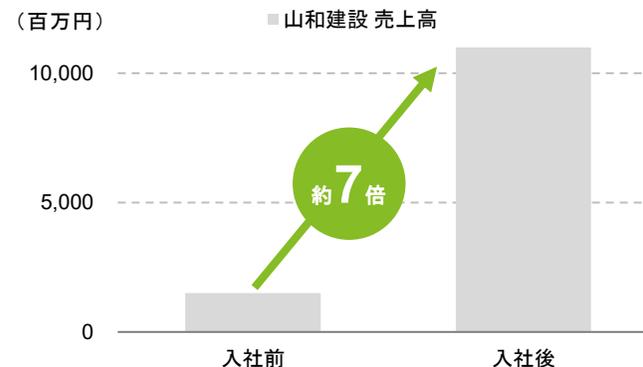
当社グループは50年以上の歴史を有している企業の連合体となっている



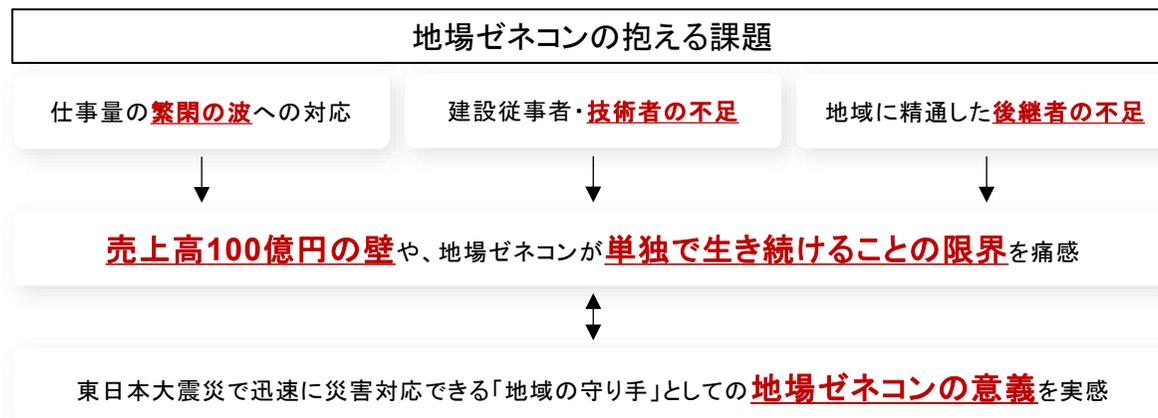
【代表者の略歴と事業にかける思い】

略歴：山和建設の創業家出身、同社売上高を15億円→100億円超へ拡大した

- 山和建設の創業者である小山和夫の嫡子として誕生。自宅併設事務所で若手従業員と寝食を共にする幼少期を過ごす。
- 大学卒業後、山形県内で最大手(当時)だった山形建設に入社。約8年で建築・土木・営業部門を渡り歩き、各役割のイロハを学ぶ。
- 親交のあった業界関係者を引き連れ、山和建設に入社。**新たに建築工部門を立ち上げ、単体売上高を15億円から100億円超まで拡大する。**
- 山和建設 代表取締役社長等の役職を歴任し、2021年4月に山和建設・小野中村ホールディングス(現当社)代表取締役に就任する。

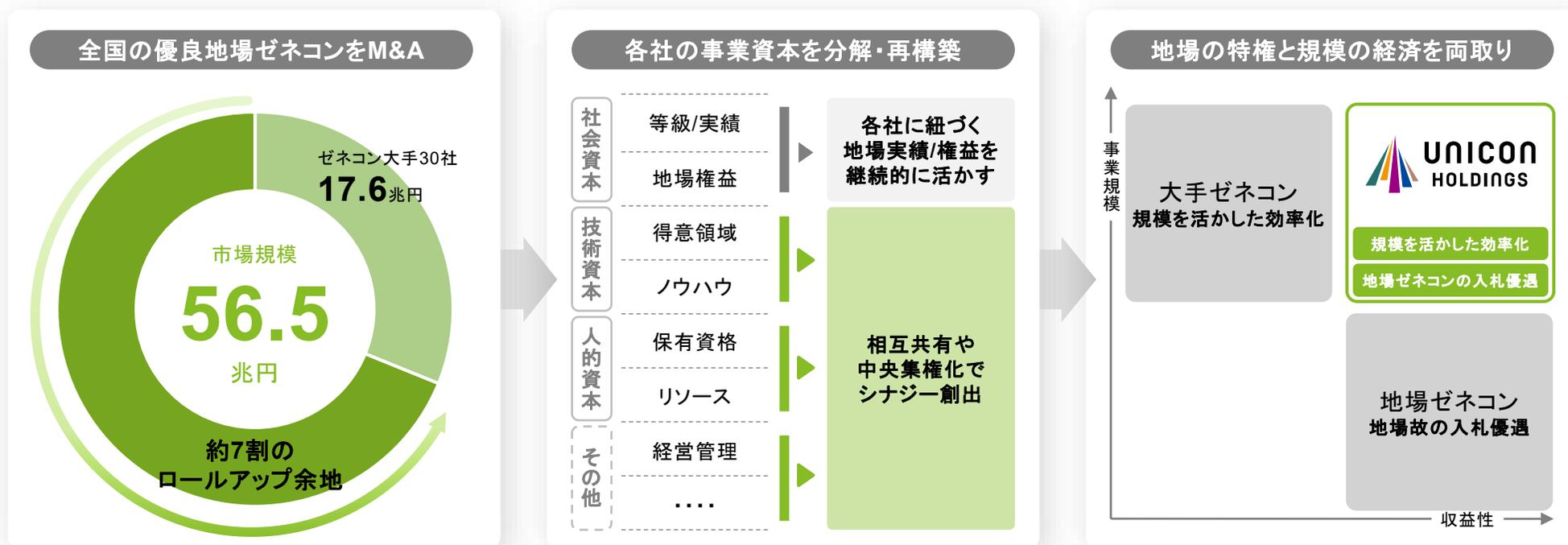


思い：地場ゼネコンは迅速に災害対応できる地域の守り手、助け合えるネットワークを構築



【ビジネスストラクチャー(1/2)】

当社のビジネスモデルは、地場ゼネコンのロールアップで、①地場の特権と、②規模の経済を両取りするモデルとなっている



注:市場規模は国土交通省「建設投資額(出来高ベース、23年4月~24年3月)」、ゼネコン大手30社は、売上高上位30社の23年度(多くは24/3期)の売上高合算値を参照した。

【ビジネスストラクチャー(2/2)】

建設会社間で技術者を融通し合う企業集団制度*を使いこなしたアサインが特徴

建設現場の
法的規制

- 1 技術者の配置義務
国家資格を保有する常用雇用の技術者を1現場1名配置しなければならない
- 2 恒常的な雇用義務
技術者は、3ヶ月以上にわたる恒常的な雇用実態が無ければ認められない

固定費の負担

事業会社単体では、発注のピークに対応するために一定の技術者確保の必要がある一方、閑散期には固定費として重い負担に

機会損失の発生

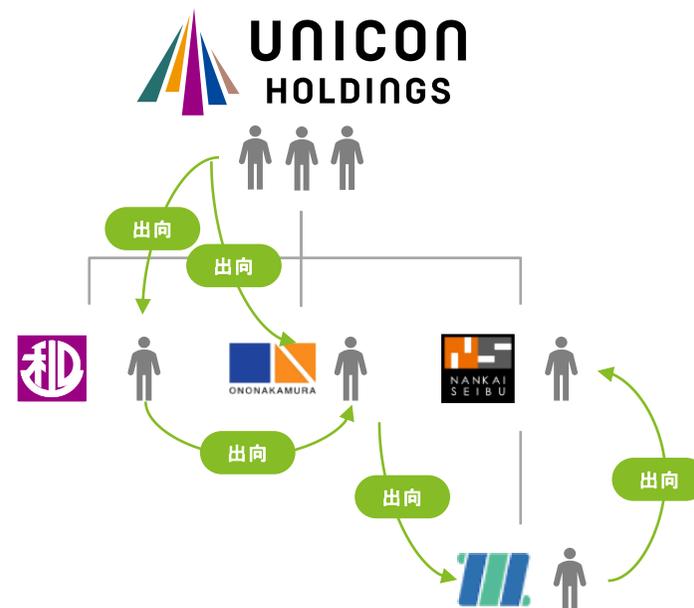
事業会社単体もしくは単なるグループ内の転籍(3ヶ月のリードタイムが必要)では、突発的な発注に対し、機会損失が発生

企業集団制度を利用

HD内で技術者を横断配置し**非稼働と機会損失を極小化**

企業集団制度を用いたリソースの融通イメージ

各社間で在籍出向し技術者を最適配置



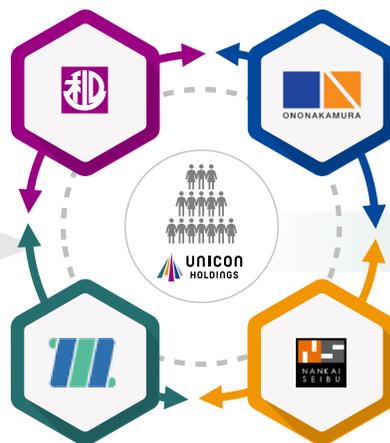
【グループシナジーの仕組み】

①各社の得意工事を学び、②グループ他社に転籍、③ノウハウを共有することで、各社の手札を増やす仕組みとなっている

各社単体での事業展開

項目	福島	山形	宮城	...
河川/海岸	小野中村	-	-	-
浚渫工事	南会西部	-	-	-
国立公園	南総建	-	-	-
砂防ダム	-	山和建設	山和建設	-
高速道路	-	山和建設	山和建設	-
...	-	-	-	-

技術者を介して、特徴的な技術・ノウハウを相互共有



ホールディングスとしての事業展開

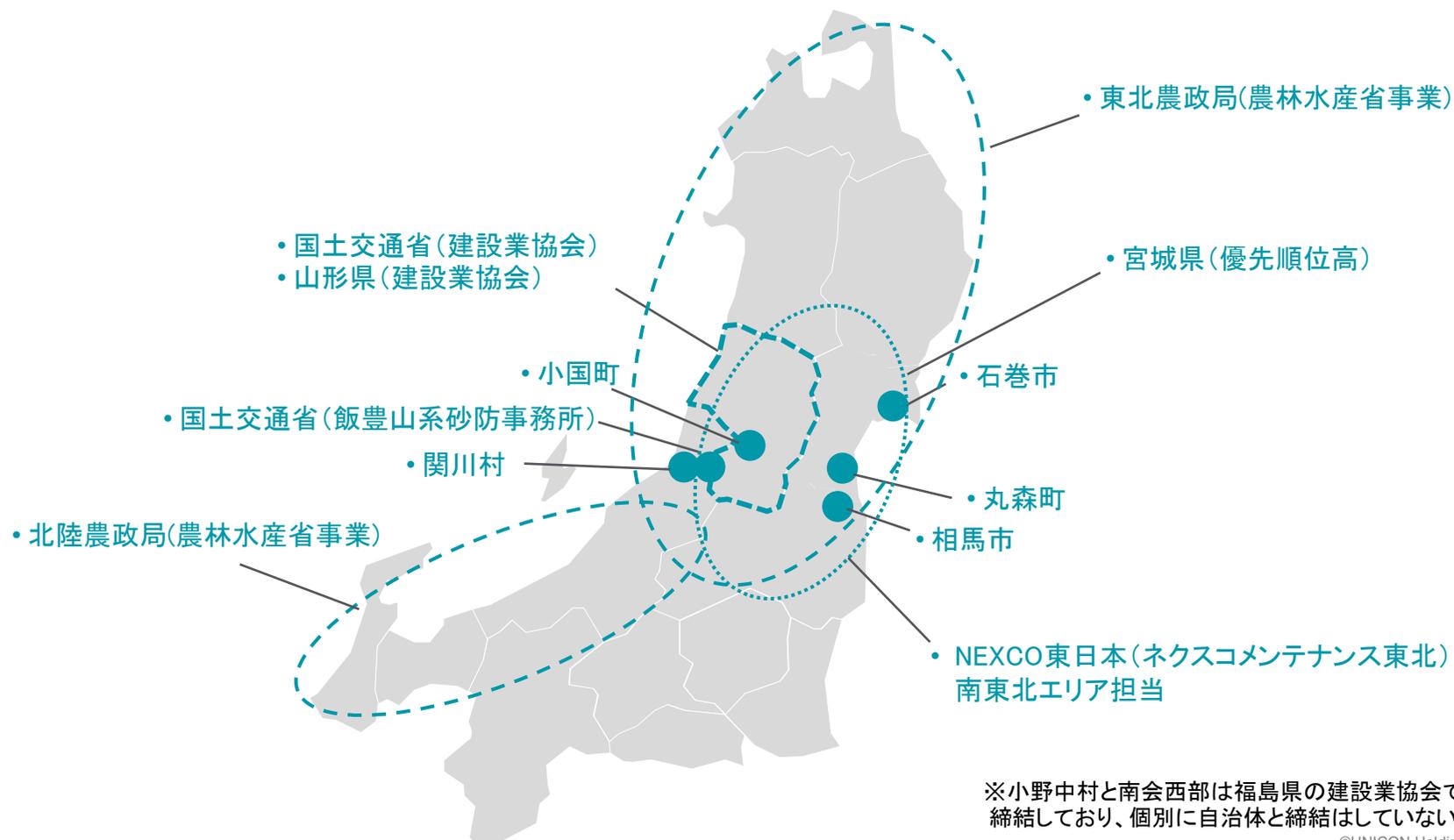
項目	福島	山形	宮城
河川/海岸	小野中村	○	○	○	○
浚渫工事	南会西部	○	○	○	○
国立公園	南総建	○	○	○	○
砂防ダム	○	山和建設	山和建設	○	○
高速道路	○	山和建設	山和建設	○	○
...	○	○	○	○	○
...	○	○	○	○	○

【災害協定地域の拡充】

各自治体と災害協定を締結しており、有事の際はすぐ駆けつける体制を整えている

災害協定締結地域

● (虚線) 現在災害協定を締結している自治体・団体



【各社共通の想い】

グループが一致団結している背景は、各社の過去の被災経験が原体験となっている

2011年3月11日発生 東日本大震災(福島県相馬市・石巻市・東北新幹線一部区間)



2019年10月12日発生 台風19号災害復旧(丸森町・NEXCO仙台管理事務所管内)



2020年7月28日発生 異常降雨災害復旧(福島飯坂IC・白石IC間)



2022年8月3日発生 大雨等災害復旧(新潟県関川村)



- グループ各社の核(根幹)には『地域の守り手』であり続けるという強い想い
- 山和建設は羽越水害(1967年)の際にボランティアの人々で起業した会社
- 小野中村は東日本大震災(2011年)、南会西部と南総建は新潟・福島豪雨災害(2011年)で被災を経験
- その際、仲間や家族を失うなど、厳しい思いを社員が経験しており、被災地にいち早く駆け付け、重機械を操り迅速に対処することがどれだけ大切かを身をもって実感
- 各社とも、この「素早い対応が人命を救うこと」が、建設業を生業としている者の使命と心得ている
- 「地域連合型ゼネコン」としての特性を生かし、大手ゼネコンにはできない、地域ゼネコンの集まりだからこそできる迅速な判断と機動力を発揮して社会に貢献し、今後、更に新たな仲間を募りながらエリアを拡大し、今よりも効果的な対応を目指す
- 原体験となっている災害対応への想いをベースに、どこよりも、だれよりも早く対処できる組織として『地域の守り手』から『日本の守り手』として未来永劫必要とされ続ける存在を目指している

【2025年元旦 新聞全面広告】

企業認知度向上を目指し、東北地方紙4紙に正月元旦広告を掲載している

震災から11年後の2022年、
ふるさとの未来をつくり守り続ける
という使命を胸に、「地域適合型ゼネコン」
として一歩を踏み出した私たち。
いまでは4つの建設会社が、強固につながり、
新しい時代の「地域の守り手」としての
道をともに進んでいます。
そして今年、株式上市という、
次のステージに向けて歩みを強めます。
上市により日本中とつながることで、
もっと強くなれる。
強くなることで、もっと大きなものを
守ってあげる。
この志に、多くの企業と、
仲間が集まることで、
東北のみならず、日本の未来も、
きっと大きく変わっていく。

東北から 建設業初の 株式上市へ。

東土木・建設業に挑む

今こそ来たれ、技術者たち

UNICONホールディングスは、今年の株式上市を見据え、ともに「地域の守り手」となる人材を募集中です。まずは、UNICONホールディングスHPをご覧ください。



WE DREAM THE UNITED CONSTRUCTORS OF JAPAN.